

キャリア教育（小学校 6年）

1 授業の実際

- (1) 題材名 よりよい蘇我の町を実現しよう
- (2) 本時の目標 ・地域の課題やよさを解決したり発展させたりするために、必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら、解決に向けて考えようとすることができる。 (思・判・表) (課題対応能力)
- (3) 本時の展開 (42/67 時間)

学習活動	教師の指導 (○) と評価 (◆)
1 前時までのジェフに提案したことを振り返り、手応えや課題などを学級全体で話す。	○前時で提案した内容についての詳細な課題は次活動で確認するので、ここでは提案の手応えや感想を聞くような発問をする。
前回出た課題を改善し、さらによりよい提案内容を考えよう。	
2 前回提案した時に、ジェフの方から指摘していただいた内容を、マトリクス図を用いてまとめる。 ・キッチンカーの内容について、季節を考えて温かいものを出すことはよかったと言ってもらえたね。でも、誰に対してどのような目的でその料理を出すのかが決まっていなかったね。	○前回の提案とジェフの方が話している様子の動画を見返したり、他のグループの進捗状況を見たりできるように、グループごとにテレビ（3台）を設置する。 ○課題に対して、教師が「その課題を解決するためには、どのような力が必要かな。」と投げかけ、教科横断的な視点が必要であることを学級全体で共有する。
3 課題を解決するための方法や手段を、グループ内の役割分担ごとに考えて取り組む。 ・蘇我の町をもっといろいろな人に知ってもらうために、蘇我の町で採れる食材を使うのはどうだろうか。私たちの住んでいる町では、どのような食材をつくっているのだろうか。	○解決するための方法や手段で、サッカースタジアムで調査したりグッズを見たりしたいという考えが出た場合は、後日ジェフの方に連絡して聞くように伝え、他に今できることはないか声をかける。 ◆地域の課題やよさを解決したり発展させたりするために、必要な情報を取捨選択したり、複数の情報を比較したり関係付けたりしながら、解決に向けて考えようとすることができる。 (思・判・表) (課題対応能力)
4 グループごとに考えた課題の解決方法や手段を伝え合う。	○グループ内で今日の学習の取組をまとめて発表するように声をかける。
5 課題に対する今日の取組を、学級全体でグループごとに報告し合う。	○各グループ2分程度で報告し、質問やアドバイスがある人は報告が終わった後に行う。
6 本時の学習の振り返りをする。	○「できたこと」「わかったこと」「これから考える必要があること」など、次時の活動につながる振り返りを記入するように声をかける。

2.成果と課題

- ・企業と連携して学習に取り組むことで、課題に対して、より主体的に、友達と話し合うことの大切さを理解しながら学習に取り組むことができた。
- ・課題を解決するために、教科横断的な力が必要であることを、児童自身が理解して学習に取り組むことができた。